



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊

2011年2月13日 No.740

事務所：品川区豊町6-2-1 TEL.3786-6674



共産党 品川

検索

転落防止の「可動柵」

東急線
大井町駅

ホームドア設置へ

行政から経費の3分の1を補助

写真上は東急大岡山駅。目黒線側のホームには、すでに「可動柵」が設置されています。

下は東急大井町駅。このホーム両側に「可動柵」が設置されます。



鉄道事業者が駅ホームに転落防止「可動柵」を設置する場合、行政が経費の3分の1を補助します。補助は総額9千330万円。都と区が半分ずつ負担します。

東急大井町駅のホームに転落防止「可動柵」(ホームドア)が設置されることになりました。品川区の新年度予算に設置工事への補助金が盛り込まれます。共産党は鉄道駅ホームへの「可動柵」設置を求めてきましたが、東急大井町駅の設置が決まりました。

ホームからの転落防止「可動柵」の設置は視覚障害者団体などから強い要望があり、JR東日本は山手線全駅への設置を発表。東急線では田園都市線など一部駅への設置が始まっていますが、大井町線への設置計画はありませんでした。

下神明駅のエレベーター工事に合わせて「可動柵」も設置してほしいとの要望が住民から寄せられ、共産党支部のメンバーと私(みやざき)は昨年12月東急電鉄に下神明駅と東急線全駅への「可動柵」設置を要請。対応した下神明駅改修の担当課長さんは「可動柵」設置は「可動柵」設置は義務ではないとしながらも「要請は受けました」とのべていたものです。

新年度 予算案

特養・保育園増設！ 大規模開発をさらに推進

品川区新年度予算には住民運動と共産党の運動で実現した貴重な成果や区民負担の増、税金のムダ遣いもありません。その一部を紹介します。



■品川区新年度一般会計予算は歳入歳出1378億8500万円。歳入は納税義務者増で区民税0・9%増。都交付金は法人住民税増などで1億円の増。国庫支出金は生活保護などの増で14億円余の増となった。

■中小企業支援の緊急経済対策の継続―▼商店街装飾灯電気代補助2倍化継続と商店街のイベント資金への貸付制度が実現。プレミアム商品券を春秋年2回。▼建設業支援は住宅リフォームへの助成の増額(5%→10%)、簡易な無料耐震診断の導入、耐震化促進補助金の増額など。

の家庭は保険料値上げになる。■重症身障児通所施設の新設。■父子家庭手当の実現。■豊葉の杜学園(2013年度予定)開設へ三中と四中統合し三中解体。大間窪小を仮校舎に。学校改築は清水台小と荏原六中。▼学力テストは2教科を4教科に4年生と9年生まで毎年実施。■大規模開発は新年度61億円(一般会計の4・4%)を予算化。内訳は目黒駅前地区の再開発に着手し3・2億円、大崎駅周辺39億円、大井町西地区13億円など。大崎駅周辺開発でマンション販売不振、地価下落で資金不足という事態にも目黒駅前地区でも再開発に着手する。▼区は、マンション販売状況は今後区議会に報告しないと発言。地価下落で資金不足の開発には補助金を増額すると表明。大崎駅西口南地区開発計画(百反坂下)は補助金27億円を35億円への増額を盛り込んだ。以上

団はほかに飯沼雅子、安藤泰作両議員が本会議で質問します。

また、共産党は高齢者が入院した場合に助成金を支給する制度の条例制定と、そのための予算修正を提案します。同様の制度は千代田、新宿、中野の各区ですすでに実施しています。



2月23日から予算議会 みやざきが代表質問

区議選前最後の定例議会となる予算議会が2月23日から3月29日までの日程で開催されます。初日の本会議で代表質問が行われますが、共産党区議団は私(みやざき)が質問に立ちます。共産党区議

お困りのときは、いつでも
ご相談ください
みやざき克俊事務所
TEL 3786-6674
無料法律相談は
2月18日(金)